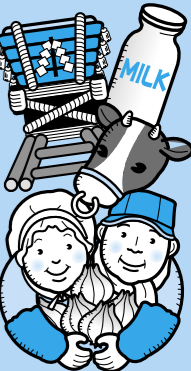


# まちかどピックス

地域の催しや明るい話題などが  
ごまじまじなら、気軽に広報係  
までご連絡ください。  
☎43・5003(情報課)



おめでとう

## 力自慢が集合



▲約150キロの餅運びに挑戦する出場者

### 薬王寺の大鏡餅運び

特大の餅を抱えて歩く距離を競う大鏡餅競争(餅持ち)大会が一月十二日、北阿万筒井の薬王寺(長谷川義泰住職)で行われ、菊井洋輝さん(八木養宜上)が九十四・五メートルを運び六連覇を飾りました。

大鏡餅競争は、厄除け祈禱大祭の余興として昭和初期から始まり、毎年この日に行わ

れている新春恒例の行事。二段重ねの餅と三方を合わせた重さは百五十三・三キログラム。境内の三十メートルを往復して抱え歩く距離を競います。

今年は島内のほか、加古川市や徳島県などから十八人が参加しました。

出場者は、まわしをしめ、地元消防団員四人に鏡もちを乗せてもらい、大勢の見物人の声援を受けながら懸命に運んでいました。

## 一年の安泰を願い三番叟

淡路人形浄瑠璃発祥の地、市三條の八幡神社などで一月二日、淡路人形座によって三番叟が奉納されました。

人形浄瑠璃最盛期の江戸時代には、島内にはおよそ四十以上の人形座があり、全国を巡回公演していました。毎年正月には、近くの神社に三番叟を奉納して巡業の成功祈り、また家庭も回っていました。

### 三條八幡神社・上田八幡神社

した。昭和四十年以降は一旦途絶えていましたが、淡路人形座が平成九年に同神社で、昨年からは上田八幡神社(神代社家)で復活させました。

この日は、座員らが今年一年の天下泰平、長寿円満、息災延命、五穀豊穡を願う地謡と太鼓、鼓に合わせて三体の人形を優雅に舞わせました。



▲三番叟の奉納(三條八幡神社)

## 島内外の方へ淡路人形浄瑠璃をPR

### 人形まつりを開催中



▲戎さんから見物客へつきたてのお餅が振舞われました

財団法人淡路人形協会と南あわじ市観光協会では、冬の観光地として賑わう灘黒岩水仙郷と併せて人形浄瑠璃も親しんでもらおうと、二月十二日まで「淡路人形まつり」を開催しています。

一月一日から八日には特別イベントとして、淡路人形浄瑠璃館で、獅子舞や餅つき、落語家の公演などが行われ、多くの人が正月気分を味わいました。

淡路人形座の坂東千秋支配人は「島外の観光客だけでなく、地元の人に見る機会を増やし、ファンを増やしたい」と、同まつりのPRを兼ねて年末多くの人で賑わう市事代主神社の「歳の市祭」や大型量販店で戎舞を披露し、来場を呼びかけました。

まつりの期間中行われているスタンラリーでは、市内十五か所の観光施設のうち三か所(一つは淡路人形浄瑠璃館)のスタンプを集めると抽選で座員による出張戎舞や海産物が贈られます。

## 年末年始の交通事故防止を呼びかける

### 「戎さんの歳の市祭」で交通遺児育英義金募金

年越しの準備と参拝で賑わう市事代主神社の「市の戎さんの歳の市祭」で、十二月二十八日、南あわじ市交通安全協会婦人部(江本京子部長)が街頭に立ち、交通遺児育英義金募金が行われました。

婦人部員が募金をお願いすると、交通事故防止のピラを配り、「よいお年をお迎えください」と参拝者らに呼びかけました。この日、集まった義金は、勉学に励んでもらえる

よう、学用品などに替えて市内の交通遺児に手渡されました。

昨年内では死亡事故が六件発生し、前年より一人増の六人の方が亡くなられました。また、人身事故は三百三十九件、物損事故は千四百九十一件、負傷者も四百三十二人を数えました。

依然として運転者だけでなく歩行者や自転車利用者の交通マナーの悪さが見かけられ



▲募金を呼びかける交通安全協会婦人部の皆さん

## 新春書初め大会

### 榎列小学校

新学期を迎えた榎列小学校(位高正直校長、児童265人)では、新年恒例の校内書初め大会が1月10日、行われました。

この日は始業式に続いて、1・2年生は耐震工事によって改築された新しい教室で硬筆、3年生以上は体育館に集合して書初めが行われ、児童らは気持ちを引き締め、一筆一筆丁寧に書きあげていました。



▲書初めに取り組む児童

## 廻角隆平くん 全国高校柔道大会へ出場



▲廻角隆平くん

阿万出身の廻角隆平くん(神戸市立神戸科学技術高校二年)が三月二十一日、東京武道館で開催される全国高校柔道選手権大会(団体戦)への出場が決定しました。

廻角くんは南淡中学校一年から柔道を始め、昨年十一月の兵庫県高等学校新人柔道大会個人の部八十一キロ級で優勝、所属する同部も団体優勝し、全国大会への出場を決めました。

## 淡路農林水産祭で各賞を表彰

淡路農林水産祭が一月十五日、伊弉諾神宮(淡路市多賀)で開催され、その席上農林水産業の振興と栽培技術の向上などに顕著な

功績があつた方に賞状が伝達されました。(関係分のみ)

### ◆兵庫県自治賞

本田 宏さん(神代)

本田さんは永年、三原郡畜産農業協同組合連合会長を勤め、淡路食肉センターの建設にあたり関係団体との連絡調整に努めたほか、全国和牛能力共進会での入賞など和牛の改良と振興に貢献されました。

### ◆淡路農林水産功労者表彰

(敬称略) 魚崎 茂(阿那賀)

### ◆農林水産物等コンクール

(敬称略) 果樹立木 金賞・山口 正

- (灘) 原田富美男(同)
- 【野菜立毛】金賞・矢内利明(賀集) 平 恵一(榎列) 銀賞・田浦 昇(松帆)
- 【乳質改善】金賞・川井健次(湊) 銀賞・村上文康(賀集)
- 出口 欽一(志知) 銅賞・西脇浩文(広田) 萩原清人(八木)
- 太田正一(同) 高木健次(松帆)
- 山田光雄(志知)
- 【しいたけ栽培】銅賞・福池義明(神代)
- 【暮らしのアイデア展】金賞・阿部睦美(阿万) 銅賞・伊吹仁美(松帆) 芝先あつ子(賀集)

## 巨大地震を想定し防災訓練

### 三原高校

阪神淡路大震災から11年目を迎えた1月17日、三原高校では淡路広域消防事務組合や南あわじ警察署も参加した大規模な防災訓練が行われました。巨大地震が発生し震度6強を記録、校舎が大きな被害を受けたと想定し、全校生徒635人の避難で訓練開始。校舎に取り残された生徒は屋上からはしご車で脱出し、グラウンドではバケツリレーによる初期消火や負傷者の搬送訓練、3年生によるAED(自動体外式除細動器)を使った心肺蘇生法の救護訓練が行われました。



▲「水は半分くらい」との指導を受けたバケツリレー